

## 神海丸便り

令和8年1月16日

### 外変し、食料、燃料等を積み込みました。

1月16日、神海丸は外国航路を航行するための申請（外変）を行い、その後、航海中の食料、燃料、消耗品や医薬品などの積み込みを行いました。



積込作業前には実習生、乗組員がデッキに集合し、作業内容の確認を行いました。



専攻科生は船首でまぐろ延縄実習で使用する餌の積み込み、本科生は船尾で食料の積み込みを行いました。



食料、餌の積込作業と同時に、機関部の乗組員によって給油作業も行いました。

補給のための船を横付けして給油作業を行います。



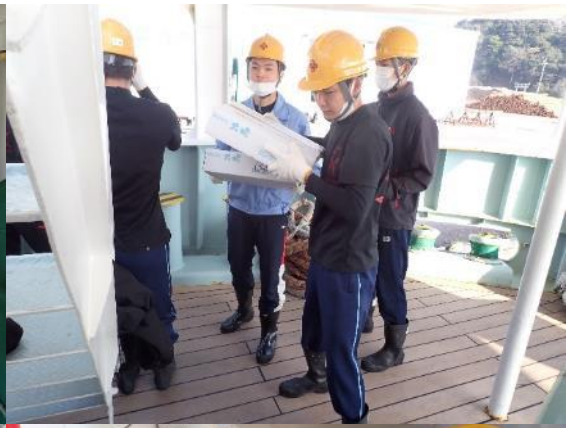


外変後、続々と物資を積み込んだトラックがやってきます。長期航海で不足することが無いよう、一つ一つ確認しながら積み込んでいきます。



餌の積み込みの様子です。餌はデッキから魚倉に積み込みます。魚倉は低温のため、防寒着を着込んで作業を行いました。





今回の積み込みで最も多いのが食料品です。本科生がバケツリレーで、船内へ運び込みました。どんな食料が積み込まれるか、興味津々です。



給油作業の様子です。船外に油が漏れないよう、機関室と電話で連絡を取りながら、慎重に流速を調整して給油していきます。





司厨部も積込作業のため、今日の昼食はお弁当でした。お弁当には実習生、乗組員へあててお手紙が添えられていました。いただいたメッセージを噛みしめて、将来大物になれるよう、実習に取り組みたいです!!

#### 船内生活の様子



毎朝、協力して船内を掃除しています。常に船内を整理整頓することは、船が揺れたときに思わぬ怪我をすることを防ぐためにも大切です。  
それぞれの分担を一生懸命掃除しています。







航海当直・機関当直の様子です。  
毎日繰り返し当直を行うことで、だんだん  
と慣れてきました。



学習・当直の時間には、船内の機器などについて、専攻科生が本科生に授業していました。本科生は専攻科生の説明をメモを取りながら真剣に聞いていました。教師役の専攻科生も、本科生に伝えることでより深く理解することにつながったようです。



学習時間が終わった後、生徒食堂では専攻科生たちが自習していました。海技試験に向けて、それぞれ時間を有効に活用している様子です。